

令和2年度昭島市障害者地域支援協議会(専門部会)活動報告書(中間報告)

専門部会名称	子ども支援部会	部会目標	障害のある子ども達とその保護者への支援		
令和2年度 取組目標	障害のある子ども達とその家族のニーズに寄り添い、人権が尊重され、安心安全な生活の中で、持てる可能性を十分に伸ばすことのできる支援の在り方を考える。				
近況報告	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大のため全体会開催を中止していたが、7月、9月に開催し、今年度の活動方針を検討した。 ・新型コロナウイルス感染症予防対策により、子ども達の生活がどのように変わっていったか、課題等について話し合った。 ・今後も引き続き課題等の洗い出しをしていくとともに、昭島市教育福祉総合センター内の教育相談窓口の内容について見学会を実施し話しを伺うこととなった。 				
現状と課題		解決のための方法		実施したこと	今後の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による課題の検証 ・昭島市教育福祉総合センターの現状を把握する 		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の聞き取りを行う ・昭島市教育福祉総合センターへの見学会の実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ・見学会の日程調整 	
全体会での 協議予定事項				協議予定時期	年 月頃
備考					

※「全体会での協議予定事項」欄は、協議予定がある場合のみに記入し、協議予定がない場合は未記入でお願いします。なお、協議する場合は、別途、協議用資料（基準様式あり）等の作成が必要となります。

令和2年度昭島市障害者地域支援協議会(専門部会)活動報告書(中間報告)

専門部会名称	当事者部会	部会目標	障害者の社会完全参加と差別のない社会をめざす	
令和2年度 取組目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害者が暮らしやすい昭島をめざし、障害者差別解消の推進を図る。 2. すべての障害者が参画できる企画及び環境作りをする。 3. 障害者の視点による権利及び権利擁護の意識を高める。 4. 障害者の日常生活の質向上(QOL)を図る 5. 第6期障害者福祉計画策定に向けて計画の履行を求めていく。 6. 障害者・健常者相互の理解を深めるために必要なことを模索し実施する。 			
近況報告	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～6月 コロナウイルス感染流行の影響で活動自粛 ・7/28 第1回定例会議開催 今後の活動について協議 ・コロナ収束まで外部向けのイベントは行わないが、小規模の学習会等は検討する 			
現状と課題	解決のための方法	実施したこと	今後の課題	
・コロナウイルス感染流行の影響により、多人数で集まることができない。	<ol style="list-style-type: none"> ①規模を縮小してできることを模索 ②収束するまでの期間中は部内での学習の機会を増やして実施 	・7月に定例会議開催し今後の活動について協議した	・コロナ感染予防対策をしながらの活動のため、活動内容の見直しが必要と思われる。	
全体会での 協議予定事項			協議予定時期	〇〇 年 月頃
備考				

※「全体会での協議予定事項」欄は、協議予定がある場合のみに記入し、協議予定がない場合は未記入でお願いします。なお、協議する場合は、別途、協議用資料(基準様式あり)等の作成が必要となります。

令和2年度昭島市障害者地域支援協議会(専門部会)活動報告書(中間報告)

専門部会名称	相談支援部会	部会目標	部会で抽出した課題の解決に向け、具体策を他専門部会と連携しプロジェクトで取り組む。	
令和2年度 取組目標	①地域課題解決への具体策の検討 ②災害時の安否確認システムの構築 ③障害者支援における感染症(新型コロナウイルス感染を中心に)の対策について検討 ④基幹相談支援センター、地域生活支援拠点についての動向の確認と必要な機能の検討			
近況報告	●年度末の時点では令和2年度最初の会議は5月に設定されていたが、新型コロナウイルスの影響で延期。6月に第一回目の部会が開催された。参加者も相談支援事業所に限定し、人数を減らして集まった。 ●部会の初回は、「コロナ禍で障害がある方、事業所が困ったこと必要とされた支援、制度」について各事業所ごとに挙げてもらい、集約を行った。 ●8月は市役所にて開催する予定だったが、感染者の増加等に伴い集まっての会議を中止。リモートでの会議ができないか各事業所へ確認を行い、8月19日、20日に試験的にZOOM会議を行った。次回以降、当面の間はZOOMで相談支援部会を行っていく。 ●相談支援事業所マップの更新。			
現状と課題	解決のための方法	実施したこと	今後の課題	
①地域課題解決への具体策の検討 ②災害時の安否確認システムの構築 ③障害者支援における感染症(新型コロナウイルス感染を中心に)の対策について検討 ④基幹相談支援センター、地域生活支援拠点についての動向の確認と必要な機能の検討	①事例検討会を開催し、地域の課題を抽出、整理を行う。 ②安否確認については、介護保険のシステムを参考にしながら障害のシステムを検討していく。 ③各事業所へ「コロナ禍で障害がある方、事業所が困ったこと必要とされた支援、制度」をまとめて全体で集約し、現状を把握する。 ④基幹相談支援センターについての基本をおさらいし、再度全体で議論の上たたき台を作成していく。	①本来であれば8月から行う予定であったが、会議が延期になったため、9月からZOOMで検討会を行う。そのための環境整備など準備を行った。 ②会議の開催が予定通り行えない状況のため、具体的な検討はできていない。 ③各事業所へ「コロナ禍で障害がある方、事業所が困ったこと必要とされた支援、制度」をまとめて全体で集約した。地域支援協議会へ提出した。 ④基幹相談支援センターについての資料を再度部会で確認した。	新しい形での会議方法でどこまで話を進めることができるか、模索していく必要がある。	
全体会での 協議予定事項			協議予定時期	〇〇 年 月頃
備考				

※「全体会での協議予定事項」欄は、協議予定がある場合のみに記入し、協議予定がない場合は未記入でお願いします。なお、協議する場合は、別途、協議用資料(基準様式あり)等の作成が必要となります。

令和2年度昭島市障害者地域支援協議会(専門部会)活動報告書(中間報告)

専門部会名称	自立生活支援部会	部会目標	障害のあるすべての人のニーズに寄り添って、その人らしい地域生活が実現できるように、ライフステージに沿ってトータルの生活支援の充実を図ることを目的とする。	
令和2年度 取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパーの人材確保・昭島市移動支援事業の報酬について ・新型コロナウイルスの影響による課題抽出や事業者の負担軽減 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題解決プロジェクトと連携し、次期障害福祉計画への位置づけの提案 ・仕事や日中活動終了後、週末等の居場所と支援サービスのニーズの把握 	
近況報告	<ul style="list-style-type: none"> ○コア会議：4月21日中止・6月10日開催（課題解決シート作成のための検討会議） ○部会開催：5月13日中止 ○地域課題解決プロジェクト：6月16日参加 ○ヘルパー事業所担当：8月17日（新型コロナウイルスの影響について会議）・9月10日（新型コロナウイルスの影響について障害福祉課と懇談） ○グループホーム担当：7月22日（新型コロナウイルスの影響について会議）・8月5日（新型コロナウイルスの影響について障害福祉課と懇談） 			
現状と課題	解決のための方法	実施したこと	今後の課題	
【新型コロナウイルスの対応】 ① 基礎疾患のある方が多いため、迅速な対応が必要になる ② ヘルパーや世話人、支援員が感染の疑いがある場合の対応 ③ 障害がある方が、普段かかっている医療機関を受診する不安 ④ 障害のある方がコロナ感染した時の対応 ⑤ 在宅の方やグループホームで発熱者（感染疑い）が出た場合の対応 ⑥ 衛生用品等の確保が利用者、事業者共にかなりの負担になっている	【新型コロナウイルスの対応】 ① 障害のある方の優先的PCR検査 ② 優先的PCR検査 ③ 出張検査体制 ④ 優先的に入院、障害特性に配慮できる医療機関の確保 ⑤ 緊急一時保護の利用や、障害者専用のコロナに対応できる医療相談窓口の確保 ⑥ 市が無償で必要な量を支給する	各委員から新型コロナウイルスの影響についての情報を集め、事業担当者ごとに会議を行った。市への申し入れ書を作成し、障害福祉課との懇談会を業種ごとに開催してもらい、各事業内容からみる現状と課題、要望を直接伝えることができた。今後の昭島市におけるコロナ対応を検討していただける内容となった。	新型コロナウイルス感染拡大により、全体での部会が開催できないているが、ヘルパー不足解消に向けた取り組みや、ニーズ調査などは重要なことであるため、今後オンライン等での会議を検討していく必要がある。 コロナ禍において現在も当事者、支援者共に不安と緊張の中にいる。在宅や生活介護では身体を近づけなければできない介助があり、グループホームでは狭い空間での共同生活である。もし感染者がでた場合、重症化とクラスターを避ける迅速な対応と、個人や施設への偏見や差別的意見が起これぬよう昭島市にはガイドラインを示していただきたい。	
全体会での 協議予定事項			協議予定時期	〇〇 年 月頃
備考				

※「全体会での協議予定事項」欄は、協議予定がある場合のみに記入し、協議予定がない場合は未記入でお願いします。なお、協議する場合は、別途、協議用資料（基準様式あり）等の作成が必要となります。

令和2年度昭島市障害者地域支援協議会(専門部会)活動報告書(中間報告)

専門部会名称	防災部会		部会目標	昭島市から死者を出さない	
令和2年度 取組目標	① 総合防災訓練の参加 ②学校避難所運営委員会へ当事者の位者・家族・事業所の参画と情報共有 ③要支援者全体計画・個別計画について ④福祉避難所置づけと運営方法・学校避難所との連携 ⑤高齢者福祉センター・会館・老人ホーム等の運用について				
近況報告	4月	新型コロナウイルス感染症対策として部会を延期した	7月	7月20日第1回防災部会 学校避難所運営委員会の開催状況 総合防災訓練・洪水・土砂災害ハザードマップについて 避難行動とコロナウイルスの影響 災害派遣福祉チーム(DWAT)の派遣 課題解決プロジェクトの整理	
	5月	新型コロナウイルス感染症対策として部会を延期した	8月	新型コロナウイルス感染症対策として部会を延期した	
	6月	新型コロナウイルス感染症対策として部会を延期した		8月13日防災課の打ち合わせ	
現状と課題		解決のための方法	実施したこと		今後の課題
要支援者名簿の活用を一部の自治会と協定書を締結している 個別計画についてはこれからの課題である 総合防災訓練は各学校避難所運営委員会で実施する事となった		随時、進行状況を確認していく できるだけ当事者・家族委員の参加を促進する	市の福祉総務課や自治連や民生委員の方に部会に参加してもらっている 防災課に参加連絡の依頼をした		自治会ごとの関心度が異なるので締結自治会を増やしてもらい 各学校避難所での実施内容の確認
学校避難所の運営が平準化していない。 水害やコロナ禍の課題が新たに浮上している。		学校避難所運営委員会の全体会の現状を把握する 当事者・家族の委員を拡大していく	運営マニュアルに要支援者対策は明記されている。変化に合わせて改正が進んでいる等を防災課に確認した		水害対策やコロナ対策も注視する必要がある 発災直後に要支援者に必要な備蓄品の検討
福祉避難所が足りていない。また、既存の福祉避難所の運営が不明確である。		内閣府が策定した「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」に沿った計画と災害派遣福祉チーム(DWAT)の被派遣を検討する。	DWATは調査中。 福祉避難所の発災時からの開設を検討している		昭島市防災会議の中で要支援者についての議論と各関係機関を通じて対策を講ずる。
全体会での 協議予定事項				協議予定時期	
備考	コロナ禍において、全体的に活動が停滞してしまった				

※「全体会での協議予定事項」欄は、協議予定がある場合のみに記入し、協議予定がない場合は未記入でお願いします。なお、協議する場合は、別途、協議用資料(基準様式あり)等の作成が必要となります。